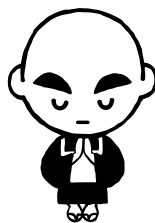




神戸青年仏教徒会 阪神・淡路大震災 15周年慰霊法要



あ

の阪神淡路大震災から、15年を迎える神戸。今年も各地で犠牲者を追悼し、お互いの復興を願う会が行われました。全曹青からは、会長を含め3名が現地へ赴き、神戸市長田区の鷹取カトリック教会で行われた、神戸青年仏教徒会が共催する慰霊法要へ参加いたしました。1月17日の早朝5時46分、地震発生の時刻にあわせ犠牲者を悼み読経、焼香いたしました。気温3度という厳しい寒さの中ではありませんでしたが、震災当時もこの寒さであったとするなら、さぞかし被災された方々はお辛かったであろうと深く感慨を覚えました。

同日、兵庫県第二宗務所青年会(以下、兵二青年会)では、長田区内にある御蔵公園での慰霊法要へ随喜しております。朝5時から自治会にて、夕方5時からは「まちコミユニケーション」にて行われています。兵二青年会では毎年参加させていただき、当時のお話や現在のご苦労などについてお聞きしております。

ここには地元住民主導のもと、兵二青年会も協力し建てられたモニュメントがあります。これは当時菅原市場周辺にて炊き出し、慰霊法要を行っていたご縁が現在も続いています。震災から15年が経ち、以前から住んでいた人は減り、移住される方も多いため、震災体験者と新しい住民の方との意識の差は大きく、それをどう縮めていき、震災をどう語り継ぐかということが大きな課題だそうです。兵二青年会として何かお手伝いができるのではないかと、来年17回忌を迎えるにあたり考えてみたいのです。

総合企画委員 安達瑞樹

(兵庫県第二宗務所青年会)